

## 令和5年度 組織目標（実績）

所属 部・局 会計課

### 【会計課行動指針】

市民の方が納付に来られる職場として、気持ちの良い丁寧な窓口対応を行います。また、風通しの良い職場づくりを心がけるとともに、適正かつ効率的で安定した会計事務を推進します。

No.	組 織 目 標	ページ
1	歳計及び歳計外現金の適切な運用を行う。	P1
2	公金の取扱について、適正な事務処理に努める。	P1
3	D X 及び財政健全化に関する取り組みとして経費節減と業務改善を推進する。	P2

運 営 目 標				
1	歳計現金及び歳計外現金の適切な運用を行う。		中間点検(9月)	
	実績(3月)			
目標項目 達成基準 達成手段 [数値目標]	①	<p><b>【施策】</b> 市の財政状況を予算や資金計画及び毎年の動向を踏まえて正確な収支を把握し、適切な運用が出来るよう資金を確保する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 資金の適切な確保による運用</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ① 各課からの資金計画を原則毎月25日とし、期限前の再周知により報告漏れ等を抑制する。 ② 保管金の状況、資金計画、前年度実績、今後の事業進捗を総合的に勘案する。</p>	<p>① 毎月25日に提出の資金計画に基づき運用中</p> <p>② 提出の資金計画に基づき資金確保の運用中</p>	<p>①<b>達成</b>：資金計画の提出を各課に周知し、期限内の入力及び入力漏れがあった場合のすみやかな連絡対応を求めた。</p> <p>②<b>達成</b>：資金計画の状況に基づき、資金の調達又は預金等の確保を図った。</p>
	②	<p><b>【施策】</b> 低金利下における基金及び歳計現金等の安全・有利な運営を行う。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 資金の適切で安全・有利な運用の実施</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①保管金の状況を毎日確認し、資金不足が生じると判断した場合は、基金からの繰替運用又は一時借入を実施する。 ②歳計現金等の資金に余裕が出た場合は、譲渡性預金や定期性預金の活用を図る。また、市内金融機関と預金及び一時借入等の金利調整等を行う。</p>	<p>① 日々の保管金の状況を確認し、4月当初より基金からの繰替運用を実施 (R5年度：9月末まで一時借入金なし)</p> <p>② 歳計現金に係る定期預金2回(15億円) 譲渡性預金2回(15億円) 併せて、基金の保管金についても 定期預金2回(約10億9千万円)を実施</p>	<p>①<b>達成</b>：4月当初に基金を繰替運用を実施し、一時借入による負担の軽減を図った。 年度中の一時借入は年度切替時期の3月の1件、計14億円(昨年12億円)として一時借入額を最小限に抑えた。</p> <p>③ <b>達成</b>：歳計現金に係る定期預金3回、譲渡性預金2回実施した(総額40億円)。併せて、基金の保管金についても定期預金2回実施した(総額約10億9千万円)。9また、指定金融機関と預金又は一時借入金に係る利息等について据え置きで協議した。</p>
2	公金の取扱について、適正な事務処理に努める。		中間点検(9月)	
	実績(3月)			
目標項目 達成基準 達成手段 [数値目標]	①	<p><b>【施策】</b> 各種伝票の取扱について適正な事務処理指導等を行う。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ①適切な伝票事務処理の指導件数の減少 ②公金の収納及び支払等時のトラブルに係る迅速適正な対応による減少</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①未払いや精算漏れ等に係る財務システムを活用した突合・確認 ②伝票起票日等の確認により振込遅延の恐れがある場合の注意指導及び振込不能等に対する債権者への連絡調整並びに速やかな再振り込み等の実施。</p>	<p>① ②適正な事務処理について注意・指導の実施中</p>	<p>① ②<b>概ね達成</b> ・健康・介護課の振込誤り(多数)に係る再振込について、急を要することから、会計課において金融機関との調整及び当課への対応指示を行い早期の支払を実施した。</p> <p>・保管金とシステムによる日計並びに月計表及び伝票との一致を確認。</p> <p>・基金の取り崩しにおいて、財政課との連携不足により、誤りが一部判明し、公金振替処理の誤りが判明したが、速やかに対応した。</p>
	②	<p><b>【施策】</b> ISDN回線廃止に伴う公金伝送方式の切替を実施する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 新たな伝送方式への円滑な切替</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①各金融機関との切替伝送方式の確定と申込 ～6月 ②伝送方式切替までのスケジュール作成及び周知 ～7月 ③各金融機関と連絡を密にし、各課端末への必要な登録等設定 ～9月 ④伝送テスト ～11月 ⑤本稼働 12月</p>	<p>● 次期データ伝送方式を「AnserDATAPORT」とする方針に基づき、調整が図れた金融機関から随時申込中。</p> <p>J A、労金 … 9月申込済 京銀 … 10月申込予定 北都 … 10月申込予定 ゆうちょ … R3.12月から利用開始済</p> <p>③ 11月中 ④ 12月初旬 ⑤ 12月中旬～下旬</p>	<p><b>達成</b> ・各金融機関からの連絡が遅く、スケジュールに遅れがでたが、申込は10月には完了。11月中旬に全体スケジュールの確認及び各端末への接続情報等の登録並びに操作者の登録等の必要な設定を実施。</p> <p>・伝送テストも11月下旬に行い、エラーがなかったことから、本稼働は12月末、1月初旬引落分から切り替えることができた。</p>

3	財政健全化に関する取り組みとして経費節減と業務改善に努める。	17 ハイパーシティ 目標達成	中間点検(9月)	実績(3月)
目標項目 達成基準 達成手段 [数値目標]	<p>①</p> <p><b>【施策】</b> 備品台帳の電子処理(ペーパーレス)化により業務改善を図る。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 年度内の電子化による備品台帳管理の実施</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ① 電子(ペーパーレス)化の具体方法の検討及び課題整理 ～7月 ② スケジュールの作成 ～8月 ③ 現行備品台帳の電子データへの移行処理 ～12月 ④ 様式作成・関係各課との調整ほか導入準備 ～12月 ⑥ 各課への周知と試行的運用による課題確認 1月～ ⑦ 運用開始 ～3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スケジュールに遅れが生じているが、具体的な対応方法については決定しており、それをベースとした課題に係る関係課との調整、併せて電子データへの移行処理を12月末までに実施 ⇒1月からの試行的運用に向けた各課周知を行い、新たに発生する課題について解決を図り、3月末に運用開始予定</li> </ul>	<p><b>概ね達成</b> デスクネットςを利用しペーパーレス化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①②について遅れる</li> <li>・③④と併せて12月末までに実施</li> <li>・⑥の各課への周知が年度内にできず、5月から運用となった。今後、デスクネットςに搭載した備品台帳(エクセル)について、各課から意見などがある場合、改善を図っていく。</li> </ul>	
	<p>②</p> <p><b>【施策】</b> OCR帳票の庁内処理を委託業務に切り替え経費節減を図る。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> OCR帳票委託業務の円滑な運用実施</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ・関係課と運用に向けての課題整理及び調整事務 ～6月 ・委託業務への円滑な切替の実施 7月中</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5年度に繰越となっていた京銀システムの改修も完了し、当業務についてR5.8.8から運用開始済み。当業務の開始に当たり、納付書等帳票の取扱いについて庁内全課に周知。</li> </ul>	<p><b>達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度に発行される税目コードが印字されたQR付納付書の伝送テストをR5年度末に実施</li> </ul>	
	<p>③</p> <p><b>【施策】</b> 納付書等に係る公金収納方法についてキャッシュレス等による決済方法の拡大を検討し収納窓口サービスの向上を図る。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 導入に係る必要経費について、令和6年度予算に計上する。</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ① 効果的なキャッシュレス決済方法の検討 ～8月 ② 導入・運用経費の検討 ～10月 ② 令和6年度予算要求 11月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①②について検討中 対応アプリについて検討済み クレカ及びPay-Eazyについて検討中 (経費等について関係事業者を確認中)</li> </ul>	<p><b>概ね達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリの追加を追加経費なしにauPayとD払いについて実施した。(ランニングコストである通常の取扱手数料は発生)※地銀ネット分のみ実施</li> <li>・「クレカ」及び「Pay-Eazy」は、導入自治体へ今後詳細を確認し、課題や経費について把握していく。</li> </ul>	
	<p>④</p> <p><b>【施策】</b> 請求書等に係る押印廃止に向けた検討を実施し市民サービスの向上、事務改善を図る。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 請求書等に係る押印廃止又は廃止可能な請求書の範囲拡大について検討する。</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ① 押印廃止に向けた課題の抽出、整理を図る ～8月 ② 府内市町の押印廃止の状況を確認する ～9月 ③ 監査関係課との調整 ～9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DX検討チーム(内部事務効率化(財務処理改善))において、財政課及び監査事務局と検討中。</li> </ul>	<p><b>未達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DX検討チームでは、「簡易電子化」対象とした一部の請求書をR6から押印廃止することとしているが、これには、財務規則の改正が必要となる。</li> <li>・R6において、一部の請求書だけの押印が廃止できるのか、検討していく。</li> </ul>	